

# 第6学年 授業研究の記録

1 授業日 令和5年10月24日（火）  
 2 単元名 教科：国語「町の未来をえがこう」  
 3 指導の実際

学 習 活 動	主な発問と児童の様子 金主体的、対対話的、深い学びの実現に向けた手立て ◎ICTの活用(あった場合のみで結構です。)
1 前時の学習の確認	金学習の見通しを持つために前時の学習について振り返る。
2 本時の課題	提案のよさが伝わる工夫を考えながら、プレゼンテーションの練習をしよう。
3 聞き手を引きつける話し方や資料の見せ方の工夫を考える。	<p>金工夫を知ることで使ってみようという意欲を高める。</p> <p>◎よくない例の発表を教師がやって示した後、お手本映像を見せ、よい発表について考えさせる。(意欲)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin: 0 20px; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">発表が意欲的に変化</div> </div>  </div>
4 発表の練習を行う。	◎前時までにしたスライドと話の構成を確かめて、練習を行うようにさせる。
5 グループで助言し合いながら、スライドや原稿を修正する。	<p>金グループで発表を聞き合い、聞き手に提案のよさが伝わるかを考えて、話し方や資料の見せ方の工夫、言葉の使い方を中心に気づいたことを助言し合わせる。</p> <p>金少人数のグループでお互いの意見を交換する。</p>
6 話し方や資料の見せ方の工夫を考えながら話す練習を行う。	<p>金友達と一緒に修正した内容を自分の言葉に直して活用する</p> <p>◎様々な工夫方法を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問いかけ</li> <li>・ 文字数</li> <li>・ 写真</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin: 0 20px; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">友達と修正 友達と練習</div> </div>  </div>
7 全体での話し合い	◎話し方と資料の見せ方について全体で練り上げる。
8 まとめ	提案のよさを伝えるために、話し方と資料の見せ方を工夫し、聞き手の反応を見ながら行うとよい。
9 ふり返り	◎実践した内容をもとに個別に振り返りを行うことで理解の定着を図る。